

平成19年11月6日  
京阪電気鉄道株式会社

- ・ 「JR京都駅～東福寺駅経由～京阪線で祇園・清水ルート確立」
- ・ 「京都市地下鉄東西線延伸に伴う京津線車両の太秦天神川駅乗り入れ」
- ・ 「グループ企業京福電鉄の嵐電天神川駅新設」で

## 京都市内の鉄道ネットワーク強化に貢献します

京阪電気鉄道株式会社（本社：大阪府中央区、社長：上田成之助）では、京都市内の交通ネットワーク強化の一翼を担い、増収を図るとともに、京都観光5,000万人達成や交通渋滞緩和、排気ガスによる大気汚染の軽減にも協力していきます。

京阪グループでは、昨年発表した経営ビジョン「“選ばれる京阪”への挑戦」で、京都を新線建設中の大阪中之島とともに重点エリアと位置づけ、京都での事業強化に注力しています。中でもその基盤となる鉄道事業の充実には積極的に取り組んでいます。

当社では、従来「おけいはん」シリーズのCMキャンペーンなどにより、独自に観光客を中心とした京都への鉄道利用のPRを図ってきました。しかし、春・秋の観光シーズンを中心に、京都市内に流入する自動車で東山地区を中心に交通渋滞が発生しており、観光客の利便性を著しく低下させているとともに、大気汚染を引き起こしています。当社ではこれまでも、大津市や京都市のご指導のもとパークアンドライドに取り組むなど問題解消に努めてきましたが、本年よりJR西日本と協力することで、京都駅からJR奈良線を経由して、東福寺駅から祇園・清水など観光スポットが連なる京阪線にご乗車いただく鉄道利用促進の取り組みを始めています。お互いのパンフレットに「東福寺ルート」を明記したほか、東福寺駅の乗り換え時刻表を共同で制作するなど、まずは宣伝広告関係から協力を進めています。引き続き企画乗車券の発行やバリアフリー化を中心とした東福寺駅の乗換利便向上などをテーマに勉強会を進めており、「全国からJR京都駅 東福寺駅経由 京阪線で祇園・清水」を京都観光のメインルートに育てていくことにしています。

加えて、来年1月16日（水）には、京都市地下鉄東西線の延伸に伴い、同

線太秦天神川駅まで京津線車両の乗り入れを延長する他、来年3月末には、グループ会社である京福電鉄の新駅「嵐電天神川」を設置し、「琵琶湖 東山 嵐山」ルートも確立していくことにしています。

当社では、京都市内の鉄道ネットワークの強化を通じて、社会に貢献していきます。



以上